



市民平和の会
草野 勝義 議員

▼TPP大筋合意と地元農業への影響について

Q 本市の農業に影響はあるのか。また、どのような対策を講じるのか。

A 長期的には国産品の価格下落が懸念されるが、関税撤廃品目の輸出拡大で、攻めの農業への転換によるプラス効果もあると考えている。今後、国から示される対策等の情報を収集し、市も対応していきたい。

Q 海外で初の物産展「島原フェア」の成果はどうだったのか。

A 参加者の輸出ビジネスに関するスキルアップや自治体としての輸出に係る基礎的知識の習得等の成果があった。

Q 大企業による法人農業が全国的に増えているが、本市への影響はどのようになっているのか。

A 島原市への大規模な農外企業の進出はないが、仮にあった場合は雇用増のプラス面と競合によるマイナス面が考えられる。担い手への農地集積や法人化による経営規模の拡大を進め、産地の強化に努めたい。

▼ストレスチェックとワークライフバランスについて

Q ストレスチェックを事業者に義務づける制度が始まったが、市役所での実施予定はどうなっているのか。

A 外部委託を考えており、平成二十年の十一月末までに実施したい。

Q 市役所職員の仕事量は増えていると思うがどうか。

A 国や県からの権限移譲や行政改革による職員数の削減により、一人あたりの仕事量も増加している。

▼まち・ひと・しごと創生総合戦略と観光分野の対策について

Q 島原鉄道を走った一号機関車の魅力にアイデアを加えれば、いろいろなチャンスが生まれると思うがどうか。

A 市民の手による観光列車としてストーリーを発信し、鉄道による入込み数の増加につなげ、島原鉄道を全国ブランドに押し上げたいと考えている。

【その他の質問項目】

- ◇島原市庁舎建設の動向について
- ◇ありあけ荘の経過について
- ◇学校のハラスメントに関するアンケートについて



実践クラブ
生田 忠照 議員

▼水を魅せる庁舎への提案について

Q 庁舎建設計画に水を魅せるような計画はあるのか。また、どのように市民や観光客に魅力を伝えるのか。

A 庁舎建設基本構想の一つに島原市にふさわしい特性を生かした庁舎があり、湧水等を生かした庁舎整備に努めるとなっている。また、パブリックコメントでは、湧水を活用した噴水やヒートポンプの活用等の意見もあった。

Q 歴史や「しまばらん」が登場する物語を、水を使って動かす仕掛けをつくったり、デジタル技術を使いメッセージを水で表示するなど、湧水を使って夜の観光まで狙うような仕掛けを検討してはどうか。

A 湧水を使ったまちづくりには、ある程度の水量が必要だと思う。今後、庁舎建設が具体化する中で経費や維持管理費を集約し、大手広場の活用策として大変興味がある。

▼ラグビーワールドカップキャンプ誘致について

Q 二〇一九年には日本で開催され、熊本で予選が行われるが、キャンプ地として誘致する考えはあるか。

A 今年七月にラグビーワールドカップ組織委員会へ事前登録を行った。公認キャンプ地の公募要項が平成二十八年春から夏頃に示される予定なので、誘致を目指していきたい。

Q 多くの自治体が手を挙げてくると思うが、何かポイントがあるか。

A 行政として応募し、競技団体関係からも応募を行い、さらにラグビーにゆかりのある方などを通じてお願いしていくことも大切だと考えている。

▼島原病院を含む小児医療体制について

Q 早朝に順番を取りに行っても、順番を待たなければならぬような状況についてどう思うか。

A 開業医の先生方の高齢化が進んでおり、現在、島原病院では土・日曜日の診察をいただいている。今後も半島三市で小児科の医師不足解消や島原病院での診察継続に取り組んでいく。

【その他の質問項目】

- ◇国が目指すコンパクトシティという考え方
- ◇町内会組織の問題点と解決策
- ◇一号機関車事業について